

令和7年度 藤岡多野歯科医師会『多職種連携研修会』

『認知症の人の最期のときを支える口腔と食』

Comfort care と Comfort Feeding Only

経口摂取が困難となってきた認知症の人の緩和ケアでは、「comfort」を保つことが重要視されます。本人の権利と尊厳を守り、「本人の望む人生の最期のあり方、本人の Comfort」を叶え、quality of end-of-life care を向上させるための、度重なる多職種と本人のコミュニケーションプロセスを ACP と呼びます。認知症の人が進行する中で「食」に対して想いを表現できるときに、本人のこれまでたどってきた経緯、人生のかけらの一つとして、食べたいもの、思い出の食を聞き取り、記録していくことが大事だと考えています。

認知症の進行に伴い、どうしても自発的な発言が難しくなっていくなかで、ご本人にとっての「食」は最後の自立行動です。重度認知症に至っては、口腔咽頭の協調運動までも困難になり、不完全な咀嚼や不十分な移送そして嚥下反射惹起遅延が起こります。私たちは可及的に、ご本人が経口摂取を続けられるように努力をしていますが、それでも生きるための栄養を摂る行為自体が本人の過度な疲労につながり、果ては肺炎リスクを上昇させてしまうケースもあるでしょう。

本人が望むなら、誤嚥性肺炎リスクに配慮し本人の機能に合わせた careful hand Feeding で、好きなものを、可能な範囲で、経口摂取すること (Comfort Feeding Only) は最期のときの生活の質を保ちます。

そして清潔で潤った口腔で、少しでもコミュニケーションがとれることは、本人と社会のつながりを維持します。これらは、一人の人間が健やかに自分らしく人生を送る Primary health care のひとつであり、基本的人権です。

講演では、皆さんも一緒に考えてみませんか。

日時 : 令和8年3月29日(日) 10:00~12:00 (9:30 受付開始)

会場 : 藤岡商工会議所 (3階) TEL 22-6374

講師 : 東京都健康長寿医療センター 自立促進と精神保健研究チーム
認知症と精神保健専門副部長 枝広 あや子 先生

参加費 : 無料

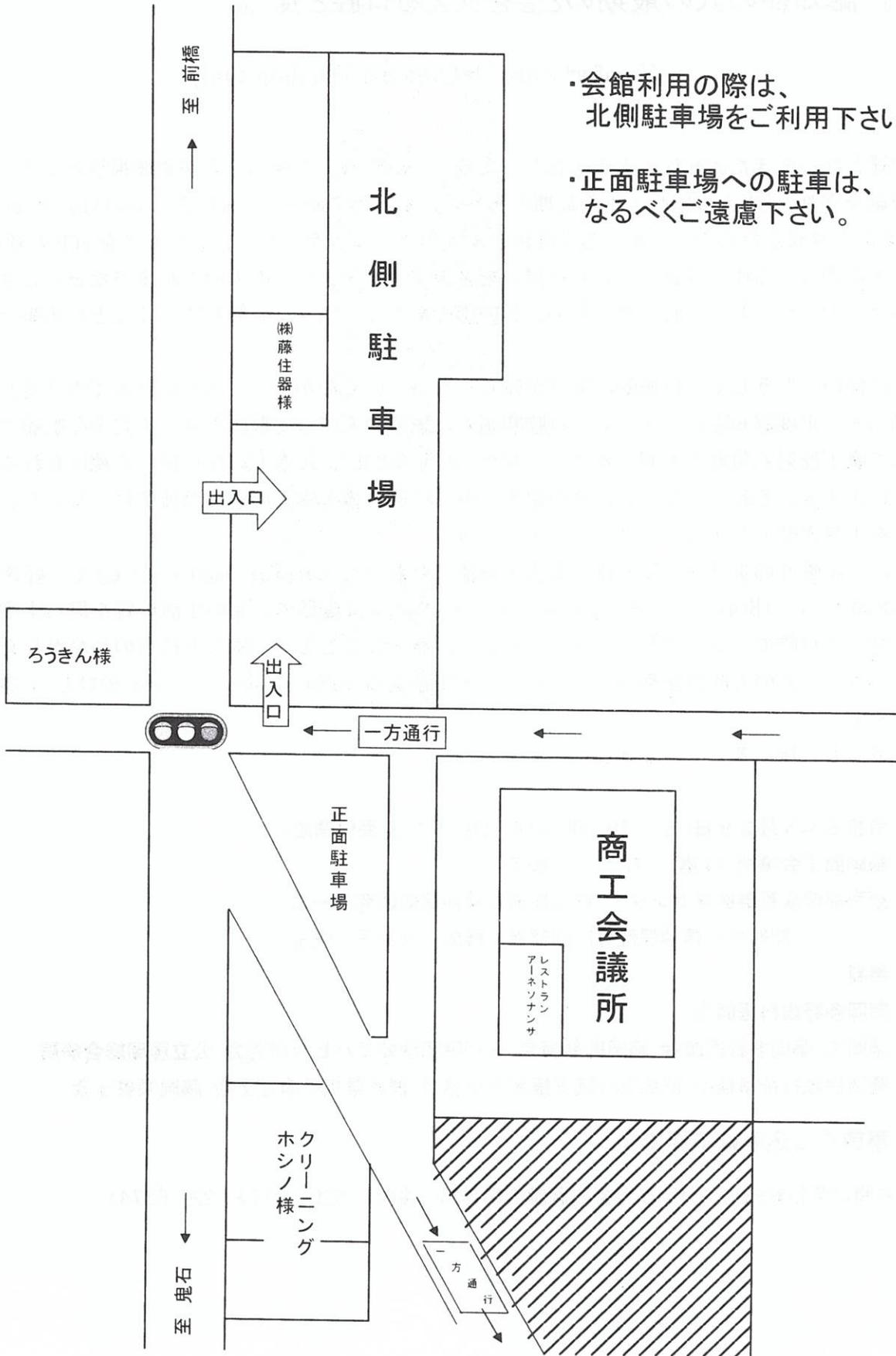
主催 : 藤岡多野歯科医師会

後援 : 藤岡市 藤岡多野医師会 藤岡薬剤師会 多野藤岡地域リハビリ研究会 公立藤岡総合病院
藤岡保健福祉事務所 群馬県介護支援専門員協会 群馬県歯科衛生士会 藤岡栄養士会

事前申し込みは不要です。

お問い合わせ先 藤岡多野歯科医師会事務局 金井 (TEL: 0274 - 22 - 6374)

駐車場のご案内



- ・会館利用の際は、北側駐車場をご利用下さい。
- ・正面駐車場への駐車は、なるべくご遠慮下さい。